

# 早期及び早植え水稲の管理

平成29年6月13日  
京築普及指導センター  
J A 福岡 京築

## ○ 生育経過

田植えが始まった4月中旬以降、平年よりも気温が高く推移したため稲の生育は進んでいます。また、京築地域(九州北部)は6月6日に梅雨入りし、向こう1か月の降水量は平年並か多いとの予報が出ています。今後は、以下のことに気をつけて管理を行いましょう。

## ○ 今後の管理

### 1 水管理

通常、田植え後1か月程度で、有効茎数が確保(坪当たり60株植えて茎数18~20本、50株植えて22~24本)されます。4月下旬から5月上旬植えは、十分に有効茎数が確保されていると思いますので、早急に中干しを開始しましょう。

※その後の田植え分も、田植え後1か月程度を目途に中干しを開始しましょう。

**中干し終了の目安は、田面に小さなひびが入る程度です。田面が白く乾くまで中干しを行わないようにしましょう。**

すでに中干しを終えたほ場では、下図を目安に間断かん水(3湛2落)を行いましょう。

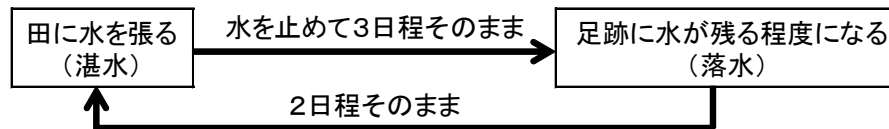


図1. 間断かん水(3湛2落)の方法

幼穂が出来始めると新しい根は伸びませんので、中干し後は間断かん水をしっかり行って今ある根を健全に保ちましよう。

### 2 雑草対策

初期除草剤の効果がなかった場合は、下記除草剤の使用を検討してください。

表1 中期除草剤(稲作ごよみ記載の除草剤)

対象雑草	農薬名	使用量 (10a当たり)	使用時期	散布方法
/ビ <sup>+</sup> エ	クリンチャー1キロ粒剤	1 kg	移植後7日~/ビ <sup>+</sup> I4葉期まで	たん水
	クリンチャーEW	100ml	移植後20日~/ビ <sup>+</sup> I6葉期まで	落水
広葉(イカ <sup>+</sup> サ、ウサ <sup>+</sup> 等)	バサ <sup>+</sup> ラン粒剤	3~4 kg	田植え後15~55日以内	落水
	バサ <sup>+</sup> ラン液剤	500~700ml	田植え後15~55日以内	落水
/ビ <sup>+</sup> エ+広葉	カービ <sup>+</sup> 1キロ粒剤	1 kg	移植後15日~30日、/ビ <sup>+</sup> I3葉期まで	たん水
	クリンチャーバ <sup>+</sup> SME液剤	1000ml	田植え後15日~/ビ <sup>+</sup> I5葉期まで	落水

※クリンチャー剤は、キシウスズメノヒエにも有効です。

### 3 病虫害対策

#### (1) ヒメトビウンカ(縞葉枯病対策)

早植えの夢つくしで発生が多くなりますので、ヒメトビウンカの発生が多い場合は、6月下旬~7月上旬にMR. ジョーカー粉剤DL等を散布して下さい。

#### (2) フタオビコヤガ(イネアオムシ)

6月下旬から7月に発生が多く、葉をハサミで切ったように食害します。発生が多い場合にはMR. ジョーカー粉剤DL等で防除して下さい。

**除草剤、農薬の使用にあたっては、使用基準を確認して、  
周辺に飛散の無いように十分注意しましょう。**